

労働組合は労働者が、思想・信条の違いを越え、同じ労働者として一致した要求にもとづいて団結し、運動する自主組織です。労働者は労働組合に入ること、初めて使用者(当局)と対等な立場に立つことができます。労働組合の先輩たちが当局に制度化を求め実現したから有給休暇や育児休業など安心して働き続けられる制度があります。自治労連は結成以来、「三原則」を貫き続けているからこそ、職場からも地域からも信頼されながら運動を展開しています。



組合員の要求を取りまとめ、毎年各省庁と交渉しています。

私たちが大切にしているもの

原則1 みんなの要求 正規も非正規も 力を合わせて実現へ

私たちの職場には様々な雇用形態の労働者が働いています。また、年齢や性別の違いなどもあり、仕事を続けるための一人ひとりの持つ要求は多様です。「もっと給料を上げてほしい」「定時で帰りたい」など、働く者の要求を大切にし、その実現に向けて力を合わせて取り組むのが労働組合です。自治労連は、「すべての自治体・公務公共職場で働く労働者」の生活と権利を守る取り組みを、全国の自治体職場で展開しています。

原則2 雇用主(当局)と 対等であってこそ 意見が言える

労働組合は、自分たちで活動内容を決め、自分たちで行動するものです。雇用主や当局に資金援助を受けるなど、関与されれば雇用主や当局に対して、意見を述べるのができず、要求を実現させることも困難になります。自治体で誤った問題が起きた時、住民を守る立場で当局に意見を言うのも労働組合の役目です。

原則3 思想・信条の自由を 保障してこそ前進できる 要求実現運動

国民・労働者の思想・信条は、憲法でも保障され、いかなる場合でも侵されるべきではなく、誰かに強要されるものでもありません。政党は、政治理念が一致する人たちが結成されています。労働組合が組合員に一部の政党への支持を強要したり、組合員から預かった組合費を、政党の活動に使うことは、組合員の思想・信条の自由を侵すことになります。自治労連は住民や組合員の要求を実現するために、一部の政党を支持するのではなく、複数の政党を含む様々な個人・団体と対等平等になって、一致した要求で協力・共同の立場を貫いています。

あなたも 労働組合へ



住民のいのちと
くらしを守りたい



Welcome to Our Union!

コロナの今こそ市民の みなさんの役にたちたい！

新規採用職員のみなさんは、コロナ危機の中で学生生活を送り、就職活動をし、自治体・公務公共の場で働くことを選択された皆さんです。その心中には、仮に今が平時であったら抱くことのなかっただろう特別な想いや不安、そして期待を持たれているのではないのでしょうか。

コロナ危機で自治体・公務公共の役割の大切さが再認識されるようになった一方で、その仕事の大変さもクローズアップされ、住民と直接関わる職場の人員不足などが社会問題化しました。そんな中やってきたみなさんは、期待が大きければ大きいほど、不安も大きいに違いありません。

また住民のいのちとくらしを守る自治体の役割を果たそうとすると、さまざまな壁にぶつかることがあると思います。

そんな時は一人で悩まず、ぜひ労働組合に相談してください。一緒に考えていきましょう。そして、労働組合にもあなたの力が必要です。住民の生活を支える職員を守るのが労働組合です。



労働組合はあなたの 味方です



新入職員のみなさん、ご就職おめでとうございます。

長く厳しい試練を乗り越えてここまでやってこられた皆さんをいじから歓迎します。

私たちの仕事は公務公共の仕事です。それは地域の課題を見つけ、そこに暮らす人々に寄り添い、共に幸せをつくりていくという誇りある仕事です。職場に西に属になったその日から、みなさんには住民からの大きな期待が寄せられます。自分の知識を活かしたり、住民との協働で地域が良くなり、感謝の言葉をもらえたりした時には大きな達成感を得られることでしょう。しかし、上手くいくことばかりではありません。経験を積んでいけば辛い事や困難な事がきつと出てきます。頑張りが過ぎて疲弊してしまうなんて事もあるかも知れません。

そんなとき、支えになるのが労働組合です。組合は重要な公務の担い手である職員の職場環境や労働条件を守り、向上させていくことを使命としています。「仕事も頑張りたいけど、自分の生活も良くしていきたい」など、組合ではその想いを集めて形にすることができます。自分の人生を充実したものにするために、ぜひ組合に加入して、ともにたくさんの仲間をつくりましょう。きっとあなたの可能性が広がりますよ。

先輩組合員から新人のみなさんへ

住民のため いい仕事 がしたい!

自治労連運動とは

「地域住民の繁栄なくして自治体労働者の幸福はない」が自治労連のスローガンです。自治体・公務公共職場で働くみんなの労働条件の改善と、住民の福祉の向上を統一して追求しています。「住民のためにいい仕事 したい」との原点を大切に、住民の暮らしを守るために、自治体労働者がどのような仕事ができるのか、予算や人員体制・労働条件はどうあるべきか、を常に追求してより良い職場にするために活動しています。また、住民と手を取りあい、憲法と地方自治が生きる地域づくりをすすめる労働組合です。



保健所・医療体制の拡充や非正規労働者の処遇改善など、幅広い課題について記者会見等で公務公共職場・住民の要求を発信しています。メディアを通じて社会的な注目を集め、要求実現のため政治をも動かしています。

青年組合員も活躍しています!



核兵器廃絶を訴えながら颯爽と走る「反核ライダー」



ロシアのウクライナ侵攻に対し青年も抗議の声をあげています

労働組合に入って 仲間になろう つながろう

自治体で働くあなたの なかまはここにいる!

様々な交流・学習活動を通じて、青年同士のつながりが生まれます。自治体で働く仲間とつながり、ともに楽しみ、ともに学ぶことができるのが自治労連です。



このつながりは楽しい事だけでなく、働くうえでの悩みや葛藤など、一人では解決できない課題にみんなで取り組む自治労連運動の原動力となっています。

2022年 青年未来づくり プロジェクト

通称: 青プロ



キャラクター あおちゃん



各地の青年が自治体を超えて交流・学習しました。



自治労連共済が 新生活を応援します

手ごろな掛金で
くらしをサポート
「まさか」にそなえよう



「ケガしちゃったけど助かった!」の巻



彼が笑顔になった理由はコレだっ!!!

彼が加入したのは、**共済掛金 月々1,820***円で
医療保障が手厚い
やつ

不慮のケガ入院... 1日 10,000円
ケガ通院... 1日 2,500円
ギブス固定... 1日 1,250円

ケガの治療にかかった費用

請求書	
入院自己負担3割 10日	51,170円
食事代 10日(30食)	7,800円
差額ベッド代 10日	30,000円
通院自己負担3割 5日	15,000円
診断書 1通	5,000円
合計	108,970円

自治労連共済に
共済金申請

まかせとけて



こんなに
かかった...!!



自治労連共済から
もらったのは...

入院
10,000 × 10日 = 100,000円
通院
2,500 × 5日 = 12,500円
ギブス固定
1,250 × 10日 = 12,500円
診断書料補助
1通 5,000円

合計 130,000円

おお!!
たすかったー!!!



民間保険と自治労連共済の大きな違いは...

民間保険

民間保険は「営業」。
保険料をこう使う

事業費・営業費等
(代理店報酬、
CM宣伝費
営業・集金職員の
人件費等)



自治労連共済

自治労連共済は
全国の「組合員の助け合い」

組合だから、
利益を目的と
してないんだよ



70%が支払われる
共済金

おまもりとして火災共済で家財保障も!

賃貸アパート暮らしなら家財だけでも入っておくといいよ。
雷でパソコンがこわれたときも保障があるよ~。

おまちしています!

手続きや質問は身近にある組合事務所まで!
かわいいパンフレットをご用意しています。職場の先パイにも聞いてみよう~。

全国の先パイ達が、万が一のときはみんなで助け合おうとつくってきた共済。
あなたの加入は、遠くのだれか、近くのだれか、次の後輩を守ることにつながっていく。
組合から新採のあなたへ「おめでとう。これからよろしくね。貸金も生活も守っていくよ」の
メッセージをこめた **共済のキャンペーンを見逃すな!!!**



*共済金としてお支払するときは要件を満たしていることが前提となります。

※加入・支払には要件があります。詳しくは組合まで。